



子どもの笑顔、未来のために、

きのと小 燦 だより

子どもの方を向き、みんなで力を合わせて育てましょう

平成30年 6月13日

学校だより 第5号

胎内市立きのと小学校

http://tainai-ed.nxc.jp/kinoto-es



コミュニティ・スクールを基盤として

校長 佐藤新一

誰かの思いやりは次の思いやりを生みます。人の優しさは連鎖していくのです。そんな一端を6月7日の「なかよし遠足」で見ることができました。いい一日になりました。6年生を中心に高学年の下級生への思いやりはこれからいろいろなところで芽を出していくことと思います。このなかよし遠足の成功の陰には、水ばしょうサポーターズの皆さん保護者の皆さんの協力があります。感謝です。



さて、今年度からきのと小学校でもコミュニティ・スクール導入への準備が始まりました。

『子どもを通わせたい学校って、どんな学校』

○子どもがわくわくする学校 ○子どもが得意なことで活躍できる学校 ○伝統芸能や環境の保存を伝えていく学校 ○自然と触れ合える安らぎのある学校 ○何でも経験させてもらえる学校 ○教職員が働きたくなる学校・

6月6日には、第1回きのと小学校コミュニティ・スクール推進準備委員会が行われました。概要説明後、短時間でしたが上記のテーマで委員の皆様にご意見をいただきました。これだけでも地域の皆さんの目指したい学校の姿が見えてきます。

地域とともに歩む学校の姿が、これからのコミュニティ・スクールにあります。学校は地域コミュニティの核にもなっていきます。参加から参画へ協力から協働へと、地域の皆さんも子どもの教育に加わってもらう仕組みをつくりたい。子どもたちのために学校をよくしたい、元気な地域をつくりたいという志を集め、子ども・学校と地域をつないでいきたいと思ひます。

子どもたちの未来のために

コミュニティ・スクールで一緒に子どもを育む

子育て・教育について話し合い、行動を起こす体制(学校運営協議会)をつくり、地域に呼びかけ、一緒に子どもの教育に携わっていこうという取組をスタートさせました。2年間のコミュニティ・スクール導入の調査・研究を先日6日の会をもってスタートさせました。

コミュニティ・スクールって何? 目的は

学校運営や学校課題に対して、広く保護者や地域住民が参画できる仕組みを持つ学校(地域の声を生かし学校と地域住民等が力を合せて学校の運営)のことを言います。

目的は、①社会総がかりで子どもを育む体制をつくるため、②学校と地域が教育ビジョンを話し合う場を設定する必要があるためです。

コミュニティ・スクールは何をするの?

- ①校長が作る学校運営の基本方針の承認
- ②学校運営に関する意見(必要な支援の協議)
- ③教職員の任用に関する意見
- ④地域の連携・協力促進、情報提供、活動推進を行っていきます。

きのと小のコミュニティ・スクール構想は?

- ①学校・家庭・地域が共に手を携えて充実した教育を目指します→「みんなで共育(共に育てる)」の気運を拡大していきます。
- ②学校だけでは解決が難しい課題を共有し、協議し、協働でできることを進めます。そして、子どもと地域の皆さんをつなげることで、学力定着や郷土への愛着・誇りの醸成はもちろん、地域の元気創出を目指そうと考えています。地域の皆様、ご支援お願いします。

裏面に、コミュニティ・スクール推進準備委員の皆様を紹介します。



きのと小学校コミュニティ・スクール推進準備委員（五十音順）

お名前	所属・役職等	お名前	所属・役職等
朝妻 真美	ひだまり保育園長	丹後 裕	県少年自然の家所長
小川 初美	PTA会長	長野 彰夫	区長会長・後援会会長
久世 俊介	商工会青年部	野澤 寛子	地域コーディネーター
佐藤 正	イバラトヨ水芭蕉の会会長	水澤 ひとみ	主任児童委員
新村 和宏	胎内市教育委員会	佐藤 新一	きのと小学校長
菅原 卓也	商工会親会理事	事務局 新井 達夫	きのと小学校教頭
高橋 孝信	水ばしょうサポーターズ会長	事務局 高橋 成子	きのと小学校教務

なかよし班遠足

6月7日（木）少し暑すぎるくらい
の晴天のもと、なかよし班遠足が
行われました。当日は16名のボラ
ンティアの方から参加いただき、児
童と一緒に歩いたり、道路を横断す
際の安全確認を行ったりしていただ
きました。

また、6年生を中心とした上学年の
児童が中心となって、1年生と一緒
に歩いたり、なかよし班のレクリエー
ションを考えみんなで楽しく遊んだり
しました。上級生が下級生に優しく接
する姿がたくさん見られました。



水ばしょうサポーターズ、保護者ボランティアの皆さんのおかげで安全に楽しく歩くことができました。



上学年のみんながリーダーシップを発揮して、下級生をしっかりと見守ってくれました。



劇団「ひまわり」公演のご案内

保護者の皆様にはすでにお知らせしたとおり、6月29日（金）きのと小学校体育館を会場に文化庁「文化芸術による子供の育成事業」劇団「ひまわり」劇公演が行われます。劇には本校4年生も出演します。

地域の方、保護者の方の観劇も可能です。観劇を希望する方は電話やファックスで教頭までお知らせください。会場準備の都合上25日（月）までにお知らせください。なお、すでに観劇の申し込みをされた方は改めての申し込みは不要です。

きのと小学校 ☎0254-46-2025 Fax0254-46-2858

劇団「ひまわり」公演 ホントのきもち（公演パンフレットより）

本当の本当の本当の気持ちって、どこにあるのでしょうか。いつどうやって表にあらわしているのでしょうか。いやー難しいことですね。「本当は～なんだけど、こんな事言ってしまった。」「本当は～なんだけど、こんな風にしてしまった。」「本当は～なんだけど、今こうしてる。」私のあなたの表現の奥には「本当は～」が、沢山ありながらも、そうでない事の方が多いのかも知れませんね。この作品では、日常のさりげない行為行動の奥に潜む「本当の気持ち」に迫りながら、人への思い遣りや気遣いについて考えます。そして何より、自分への思い遣りは、どうなっているのだろうか？について見つめてみたいと思います。気持ちのストレスやフラストレーションの大きい昨今の生活事情。大人だけではありません。子どもたちの方がもっともっと深く・大きく・広く「気持ちの揺れ幅」を日々実感しているようです。素直にのびのびと前向きに生きるためにも、子どもたちに心と体の伸びやかな状態でいられることが本来ある姿であることを、本作品を通して感じ考えていただきたいと思います。